

麴スペシャリティブランド「MURO」、 最高科学顧問（CSO）に発酵学の第一人者・山下秀行氏が就任

研究開発拠点「MURO KOJI SCIENCE LABO」を東京・新宿に設立。

内閣府BRIDGE「精密栄養」共同研究を基盤に、
麴の機能性・未利用資源の活用研究を加速

麴のスペシャリティブランド「KOJI SPECIALITY MURO」を展開する株式会社コラゾン（本社：東京都新宿区、代表取締役：大村 智則、以下「当社」）は、2026年10月1日付で、最高科学顧問（CSO:Chief Science Officer）に、発酵学の第一人者である山下 秀行（やました ひでゆき）氏が就任したことをお知らせします。あわせて、麴に関する研究開発の中核拠点として「MURO KOJI LABO（ムロ・コウジ・ラボ）」を東京都新宿区若宮町に設立し、山下氏がLABO長を兼任いたします。

最高科学顧問（CSO）山下 秀行 略歴



氏 名	山下 秀行（やました ひでゆき）
生年・出身	1958年5月29日／宮崎県都城市
学 位	博士（医歯薬学）※広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻（2013年）
専 門	発酵工学、醸造・麴の科学

主な経歴

1983年 広島大学工学部 発酵工学科 卒業／
株式会社樋口松之助商店 入社／国税庁醸造試験所へ出向
1985年 同社 研究室
2011年 同社 取締役
2013年 広島大学大学院医歯薬学総合研究科
創生医科学専攻 修了、博士（医歯薬学）
2026年 同社 退社／長岡技術科学大学 特任教授、
株式会社コラゾンCSO就任

主な受賞

2013年 日本醤油技術賞（応用の部）

当社は、内閣府 BRIDGE※「Precision Nutrition（精密栄養）の実践プラットフォームの構築と社会実装」（代表機関：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）に、「代替食品・レシピの開発」の参画機関として2023年より加わってまいりました。同テーマには、種麴の老舗・株式会社樋口松之助商店も参画機関として名を連ねており、当時同社の取締役であった山下秀行氏とは、麴を軸とした食の機能性研究を共にしてきた間柄です。今回のCSO就任とMURO KOJI LABOの設立は、この共同研究で培った知見と信頼関係を土台に、当社の研究開発体制を本格化させるものです。

※BRIDGE：内閣府 総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の司令塔機能のもと、各省庁の研究開発の成果を社会課題解決・新事業創出（Society 5.0）へと橋渡しするプログラム（2024年10月より2026年3月終了）。

就任・設立の背景 — 「麹菌の選定」を極めた人物を、麹の研究拠点へ

MUROは、日本が世界に誇る発酵技術の中核「麹」を起点に、ドリンク・調味料・ホールフードへと展開するブランドです。当社の研究は、単なる商品開発にとどまらず、以下の本質的なテーマに向き合ってきました。

- 麹菌自体の選定 — 目的に応じた麹菌株の探索と評価
- 基質(材料)との相互作用 — 素材ごとの官能面・機能面への影響の解明
- 未利用材料 × 麹の関係性 — これまで活用されてこなかった素材と麹を掛け合わせる研究

とりわけ「未利用材料の活用」は、食品ロスの低減や食料資源の有効活用という社会課題に直結するテーマです。これらを科学的に深めるうえで、麹菌そのものを知り尽くした研究者の存在が不可欠でした。山下氏は、種麹をはじめとする麹の研究に40年以上携わり、国税庁醸造試験所での研鑽、日本醤油技術賞の受賞など、産学の両面で発酵科学を牽引してきた人物です。BRIDGEにおける共同研究を通じて当社と研究を共にしてきた経緯もあり、このたびCSOとして正式にお迎えするに至りました。



MURO KOJI LABOで製造した麹



麹菌による発酵過程

MURO KOJI LABO概要

名 称	MURO KOJI LABO (ムロ・コウジ・ラボ)
所 在 地	東京都新宿区若宮町27
設 立	2026年10月1日
LABO長	最高科学顧問 (CSO) 山下 秀行
研究領域	麹菌の選定／基質との官能・機能研究／未利用材料の活用研究 ほか

コメント

株式会社コラゾン 代表取締役 大村 智則

「麹は、日本が世界に誇る発酵の知恵の結晶であり、MUROが一貫して探求してきたテーマです。その麹を誰よりも深く理解する山下秀行氏を最高科学顧問に迎え、MURO KOJI LABOを設立できたことは、当社にとって大きな一歩です。内閣府BRIDGEの共同研究で積み重ねた知見と、山下氏の発酵科学の知見を掛け合わせ、精密栄養の時代にふさわしい、科学に裏づけられた食の価値を社会に届けてまいります。」



大村代表(左)とCSO山下氏(右) ラボ内

最高科学顧問(CSO) 山下 秀行

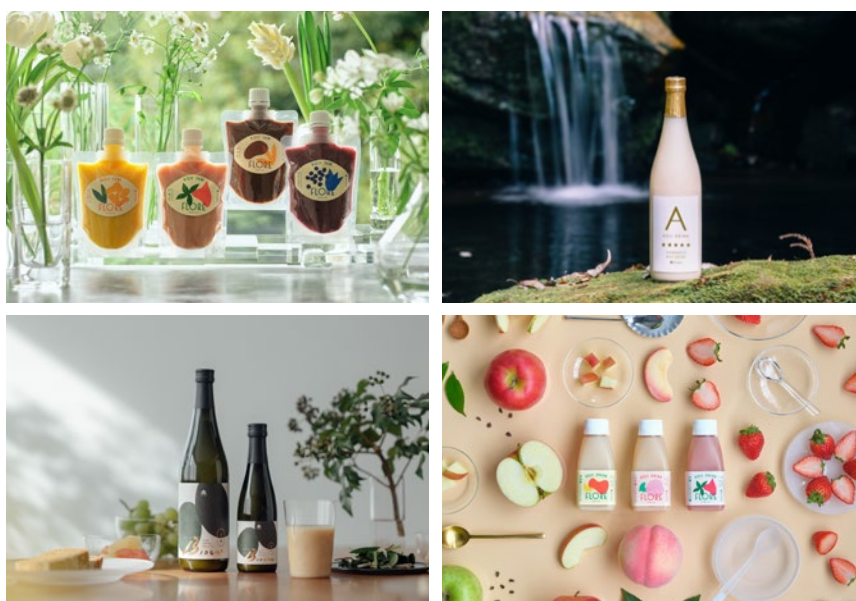
「麹という日本古来の素材には、現代の栄養科学から見てもなお解き明かされていない可能性が数多く残されています。MURO KOJI LABOを拠点に、麹菌の選定から未利用資源の活用まで、麹の機能性を科学的に解き明かし、持続可能で健やかな食の実現に貢献してまいります。」

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

医薬基盤研究所 副所長

ヘルス・メディカル微生物研究センター センター長 國澤 純

「内閣府 BRIDGE『Precision Nutrition の実践プラットフォームの構築と社会実装』において、コラゾン社には代替食品・レシピの開発をになう参画機関として、麴を軸とした食の機能性研究にともに取り組んでいただけてきました。このたび、発酵科学に長年たずさわってこられた山下秀行氏を最高科学顧問に迎え、研究拠点 MURO KOJI LABOを設立されたことは、麴の可能性を科学的に解き明かし、精密栄養の社会実装を前に進めるうえで大変心強い一歩です。今後の研究の深化に大きく期待しています。」



麴専門店MUROで販売しているオリジナル商品



麴専門店MURO神楽坂

■MUROの使命

麴の可能性を解き放ち地球と心と身体の健康に貢献する。

■会社情報

会社名：株式会社コラゾン

代表取締役：大村 智則

本社所在地：東京都新宿区神楽坂1-12-6 2F

資本金：1,000万円

事業内容：麴スペシャリティブランド「KOJI SPECIALITY MURO」の企画・開発・販売 ほか

【本件に関するお問合せ先】

株式会社コラゾン PR担当：一戸 伶美

メールアドレス：ichinohe-s@corazon.jp

TEL：03-5579-2328

■メディア関係者様へ

本リリースに掲載している画像をご用意しています。

ライフスタイルや健康企画でのご取材をお待ちしております。